



みよし剛史



塩沢みつえ

発行：日本共産党  
福山市議会議員団  
津之郷町津之郷 970-1  
084-952-2662

## 母親大会と福山市の要望懇談

# 子の健やかな育ちを

8月20日に母親大会の  
方々と福山市との要望懇談  
の場が設けられました。

日本共産党からみよし剛史  
市議、塩沢みつえ市議、れい  
わ新選組から山田ゆみ市議が  
同席しました。

母親大会は、5月に6分  
野・40項目の要望事項を福山  
市へ提出、7月の市の文書回  
答に対し、特に「教育」と「食」  
の分野での意見交流が行われ  
ました。教育委員会と農業振  
興課が対応しました。

## 隠れ教育費軽減を 子どもの居場所を

「教育」では、参加者から制  
服や副教材などの「隠れ教育  
費」の軽減について市の見解  
が求められました。

学校ごとの校則や方針によ

って学用品費は様々です。市  
は学用品の購入については、  
「必要最小限にするよう学校  
に求めている」としつつ、「各  
学校の状況は把握していな  
い」と回答しました。

学校ごとの校則や必要な学  
用品の分かりやすい情報提供  
をするよう求められました。

また、福山市では自由に利  
用できる児童館が無く、図書  
館の学習スペースも限られて  
いることから、就学以降の子  
どもたちの居場所の充実を求  
める要望が出されました。

市は、子どもの居場所の重  
要性は認識しつつ、職員確保  
やハード整備等、課題が大き  
いと説明しました。

安心安全の給食  
有機農産物促進を  
「食」については、学校給  
食で提供されるパンなどの小  
麦食品を、安全な国産小麦を  
用いたものに転換すること  
や、農薬を使用した農産物が  
子どもの発達に悪影響を及  
ぼす懸念があることから、有  
機農産物の生産促進と共に、  
学校給食に活用する取り組  
みが要望されました。



懇談では約20名の参加者から様々な思いや意見が続いた

## 放課後児童クラブを視察

# 子どもたちの生活の環境充実を

塩沢みつえ市議は、市内放  
課後児童クラブの利用者か  
ら児童の過密状況の改善要  
望を受け、2小学校の児童ク  
ラブの様子を視察しました。

### A 小学校の事例

70人を超える児童数。一  
つの教室で過ごしていたが、  
保護者の要望で二つ目の教  
室を借りられることになり、  
2教室となった。各教室2人  
の指導員がいる。

### B 小学校の事例

30人ほどの児童に指導員  
が2人。視察の日は13人の出  
席で、静かに宿題に取り組み、  
その後の全員一斉の工作では  
指導員の話がよく聞こえてい  
た。

### 児童のために

## 環境の改善必要

「30人を超すと子どもたち  
の様子がつかみきれない。」  
指導員の方の話が印象的で  
した。

指導員の充足とともに、子  
どもたちが落ち着いて過ごす  
ことのできる教室数の確保  
が必要です。

放課後児童クラブは子ど  
もたちの生活と遊びの場  
です。健やかな育ちのためには  
座って過ごすだけでなく、体  
を使って遊び、休養する空間  
も当然必要です。環境の改善  
が急がれます。



室内でラジオ体操をして過ごす児童たち

塩沢みつえ市議は、市内放  
課後児童クラブの利用者か  
ら児童の過密状況の改善要  
望を受け、2小学校の児童ク  
ラブの様子を視察しました。

以下、塩沢市議のレポート  
を掲載します。

視察の日は教室①に10人  
ほど、教室②に30人ほどの  
児童がいて、座ってタブレッ  
トを見たり、ノートを広げて  
勉強をしたり、友達と話した  
りしていた。

熱中症アラート指数が高い  
日は外遊びができないが、D  
VDを見ながらラジオ体操と  
ストレッチを取り入れている  
様子で、室内を走る  
児童が人がぶつかりそうに  
なったり、人の足を踏んだり  
して指導員や友達に注意さ  
せて楽しんでいた。

机と机の間が狭く移動が  
しづらい様子で、室内を走る  
児童が人がぶつかりそうに  
なったり、人の足を踏んだり  
して指導員や友達に注意さ  
せて楽しんでいた。